

# 新 星

Shinsei ★ しんせい

2025年  
6月号  
vol.81

常陸大宮市社協の新しい情報は  
ホームページをご覧ください。  
常陸大宮市協 検索  
<https://www.hitachiomiya-shakyo.jp/>

公式 SNS  
Facebook QRコード  
Twitter QRコード  
アカウント名：常陸大宮市社会福祉協議会



## 諸沢悶絶マラソンが地域を元気に!!



途中で集まって私設応援団を結成



「ごちそうさまです。次回も来ます。」



スタート前のランナー



毎年、庭から応援、  
応えるランナー

ボランティア「よいどりの会」  
による事前のコース整備

4月12日(土)「諸沢悶絶マラソン」(悶絶する程過酷なコースを走る民間の大会)が山方の諸沢地区で開催され、県内外から参加したランナー約80名が健脚を競いました。地域の方を中心としたボランティアの皆さんや、ランナーを応援する住民による私設応援団など、ランナーと住民との触れ合いがあり、この大会が地域を元気にするとともに一体感が生まれ、まさに「地域のお宝」です。

### CONTENTS

- P2 令和7年度事業計画
- P3 令和7年度予算/人事異動について
- P4 ボランティア市民活動センター(善意銀行)/親子ボランティア体験講座募集
- P5 常陸大宮市生活支援体制整備事業「つながり通信」
- P6 各地域の高齢者スポーツ大会
- P7 各福祉団体の定期総会が開催されました/「乗合タクシー」予約方法の変更のお知らせ
- P8 心配ごと相談/常陸大宮市社会福祉協議会職員採用試験

## 山方茶話会

圏域 山方地域

**山方茶話会の「山方を知ろう」**「山方茶話会」では「山方を知ろう」という取り組みを行っています。各地域の特徴やそこに暮らす高齢者等の生活を知ることが目的に山方茶話会のメンバーで地域を訪問しています。今号では次の3地域をご紹介します。

**2024/11/25 小貫区訪問** 小貫区の民生委員の猿田潤子さんから元気で生き生きと暮らしている木村さんをご紹介します。木村さんは「普段から隣近所や民生委員さんの見守りや電話連絡などにより、安心して生活ができています。台風19号のときは地域の方からの声の掛け合いがあり安全に避難できた。昔、この辺はたいそう往来があり賑やかで、特に金砂郷の祭礼の思い出がある。何度も増水した川については、木造の橋が架かるまで渡し舟が行き来していた。」と話し、普段は家族の支援があり、趣味の集まりに友人と参加したり、乗合タクシーを利用して外出するなど充実した毎日を送っているそうです。



いきいきと暮らしている木村さん



民生委員の猿田さん



趣味の絵画

## 2024/11/25 照山区訪問



民生委員の関さんと在宅介護支援センターの職員



山方茶話会のメンバー

照山区の民生委員の関義光さんから地元高齢者のお宅でお話を伺う機会をいただきました。花壇や畑を手入れしながら暮らしている女性は「近くに住む子どもたちが気にかけてくれて生活での不自由はない」と話し、楽しみは野菜作りと同級生との電話でのおしゃべりとのこと。また、高齢の男性は「頻りに訪ねてくれるご近所の方や民生委員さんに見守られながら、地域の集まりにも顔を出している」と話してくれました。年齢を重ねても地域のつながりを途切れさせない様子がわかりました。

この照山区に根ざすボランティアグループ「**銀河クラブ**」は、地域のソフトボールクラブとして発足し、地元のために地域の整備(市のクリーン作戦だけでは手が届かないところなど)を中心に25名ほどで活動しています。ボランティア活動することでメンバー同士のコミュニケーションが図れ、地域には安心・安全を届けています。



## 2025/5/21 山方第1区訪問

民生委員の小林隆子さんに紹介いただき、関さんご夫妻宅でお話を伺いました。ご主人は「普段、犬の世話や日記をつけたり、奥様との会話を楽しみながら、若い頃に一生懸命仕事や遊びをしたから(笑)今は静かに暮らしている。回覧をまわすなど地域での役割はしているが、コロナ禍前のような地区の集まりがなくなり寂しい。」と話をしています。奥様は「自転車で外出するときは、意識して停めて、知人と挨拶やお話しをするようにしています。」と話してくださり、自動車では見過ごしてしまうコミュニケーションがそこにはあり、とても大切なことだと感じました。



山方茶話会のメンバーと関さんご夫妻



意識して停めて、知人と挨拶やお話しをするようにしています。」と話してくださり、自動車では見過ごしてしまうコミュニケーションがそこにはあり、とても大切なことだと感じました。



山方地域のいくつかの区を訪問しましたが、そこには住民の方が民生委員へ寄せる信頼関係を感じました。お話を聞いた方は、生活に困ったことはないとおっしゃっているのが印象的でした。家族はもちろん、近所の方や友人、趣味の仲間との付き合いや、声の掛け合いがあって、生き生きとされていて、できる範囲で地域とのつきあいも続けながら、住み慣れた我が家でこれまでの暮らしを継続できることが大切だと感じました。